

# 週間漁海況情報—第35号

平成22年09月13日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究所

## 1. 海況の経過

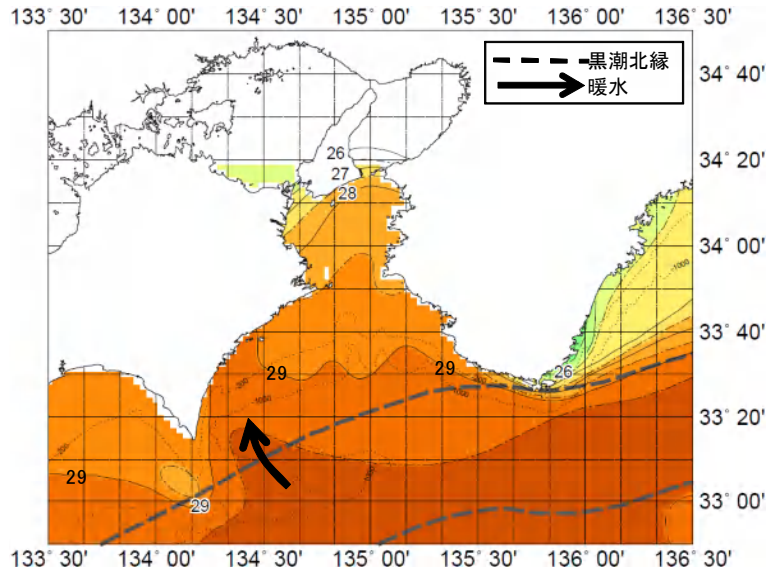
右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H22.9.13）を示した。

黒潮は、室戸岬沖および潮岬沖で接岸している。室戸岬以西では、都井岬沖でやや離岸、足摺岬沖で接岸している。

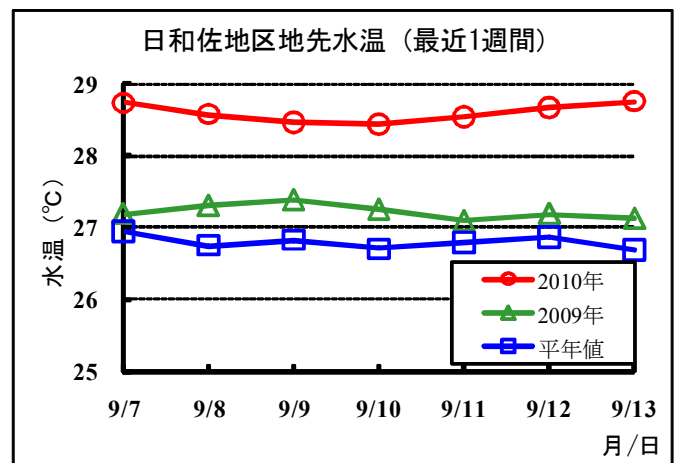
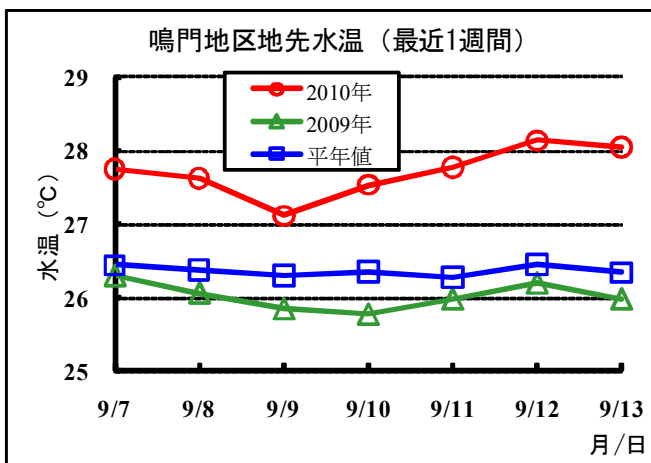
黒潮本流の表面水温は、28～30℃台である。

徳島沿岸の表面水温は、播磨灘が25～28℃台、紀伊水道が26～28℃台、海部沿岸が28～29℃台である。

紀伊水道外域では、先週末頃から、室戸岬の南東沖から徳島県側に向けた暖水波及があり、海部沿岸下灘は29℃台の暖水に覆われている。



**地先水温** 最近1週間の地先水温は、鳴門地区及は「やや高め」～「高め」の27.1～28.1℃、日和佐地区は「高め」の28.4～28.8℃、牟岐地区は「平年並み」～「かなり高め」の27.4～29.5℃で推移した。



\* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

## 2. 漁況の経過

小型定置網：海部沿岸で、アオリイカが0.2トン(1日1隻当たり5kg)、小小主体にカマス類が1.2トン(同32kg)、ヒラソウダが0.3トン(同7kg)、小主体にゴマサバが0.8トン(同22kg)、マルソウダが0.1トン(同3kg)水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大主体にイサキが0.1トン(同2kg)、メジロが0.1トン(同2kg)、紀伊水道で、中主体にサワラが2.7トン(同76kg)、中主体にタチウオが0.4トン(同17kg)水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが42.4トン(同331kg)水揚げされた。

漁業種類別集計表(抜粋) 09月06日～09月12日

県下5漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	アオリイカ	39	206	5	
		カマス類	39	1,248	32	小小主体
		ヒラソウダ	39	254	7	
		ゴマサバ	39	848	22	小主体
		マルソウダ	39	130	3	
釣り	紀伊水道	イサキ	62	115	2	大主体
		メジロ	62	114	2	
		サワラ	35	2,656	76	中主体
		タチウオ	26	438	17	中主体
パッチ網		シラス	128	42,400	331	

週間予報：黒潮は室戸岬沖と潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「やや高め」の27～28℃台、日和佐地先は「高め」の28℃台で推移する見込み。